

イーグルスミコーポレーション

イーグルスミコーポレーションは、今年1月から新たな5カ年中期経営計画をスタートした。最終年度に単体290億円、グループ335億円の売上高を目標に掲げている。事業構造の変革がテーマ。海外展開の強化と付加価値品の輸入販売が軸となる(住吉徹社長)というように、変化が進む国内化学業界や成

長が続く中国・東南アジア市場への対応によって

年に入り中国・廈門に合弁会社を設立した。香港の現地法人は中国のローカル企業や日系企業が生産したさまざまな化学品を東南アジア市場に輸出する。一方、国内では塗料・インキ原料、電子材料、医療分野に力を入れる。

海外強化し事業構造変革

事業展開を推進する。同社は海外ネットワークの強化に力を注いでいる。上海と韓国の現地法人に続き、2014年12月には香港に現地法人を立ち上げたのに続き、15

したり、逆に東南アジアから中国に輸入するといった東南アジア域内での販路拡大を推進する。廈門の合弁会社では日本からの輸出および中国の日系メーカーが生産したハ

塗料・インキ原料関係では特徴ある輸入品で市場を開拓する。電子材料は中国のローカル企業が生産するハイエンドの商材をディスプレイ周りを対象に提供する。医療分野で

は、昨年11月に日本ユニポリマーを関係会社化した。同社はメディカル用チューブなど医療機械分野に強みを持つ専門商社。今後はイーグルスミ

が手がけるシリコンやポリマー類など新たな商材を扱ったり、OA機器向けに販路を拡大するなどチャンネルを発掘していく。

は、昨年11月に日本ユニポリマーを関係会社化した。同社はメディカル用チューブなど医療機械分野に強みを持つ専門商社。今後はイーグルスミが手がけるシリコンやポリマー類など新たな商材を扱ったり、OA機器向けに販路を拡大するなどチャンネルを発掘していく。